



# sds 2017

Kyoto University Summer Design School

日程 9.13 WED - 15 FRI

場所 京都リサーチパーク

主催 京都大学 デザイン学大学院連携プログラム  
京都大学大学院 情報学研究科  
京都大学 経営管理大学院  
デザインイノベーションコンソーシアム

共催 京都大学大学院 工学研究科  
京都大学大学院 教育学研究科  
京都大学 学術情報メディアセンター  
京都市立芸術大学 美術学部・美術研究科  
京都工芸繊維大学 工芸科学研究科



京都大学サマーデザインスクール2017  
公式パンフレット

[写真・ビデオ撮影について]

当日スタッフが撮影した写真や動画を、Twitter、Webサイト、報告書、論文等に掲載する場合がございます。  
掲載に不都合のある方は、受付にお申し出ください。

# はじめに

「京都大学サマーデザインスクール」は、これまでこのべ1500名以上が参加してきた、3日間集中のデザインワークショップ。様々な分野の参加者と実施者がテーマに分かれ、社会の実問題に真剣に挑みます。

7回目となる今回は、23にのぼる多様なテーマが実施されます。

京都大学サマーデザインスクール2017で、今年の夏を締めくくりましょう。

# もくじ

- 1 はじめに・もくじ
- 2 タイムテーブル
- 3 フロアマップ
- 4 会場配置：テーマワーク（1F アトリウム）
- 5 会場配置：テーマワーク（2F KISTIC会議室）
- 6 会場配置：プレゼンテーション
- 7 プレゼンテーションについて
- 8 テーマ一覧
- 9
- | テーマ詳細
- 20
- 22 京都大学デザインスクールについて
- 23 デザインイノベーションコンソーシアムについて
- 24 運営情報

# タイムテーブル

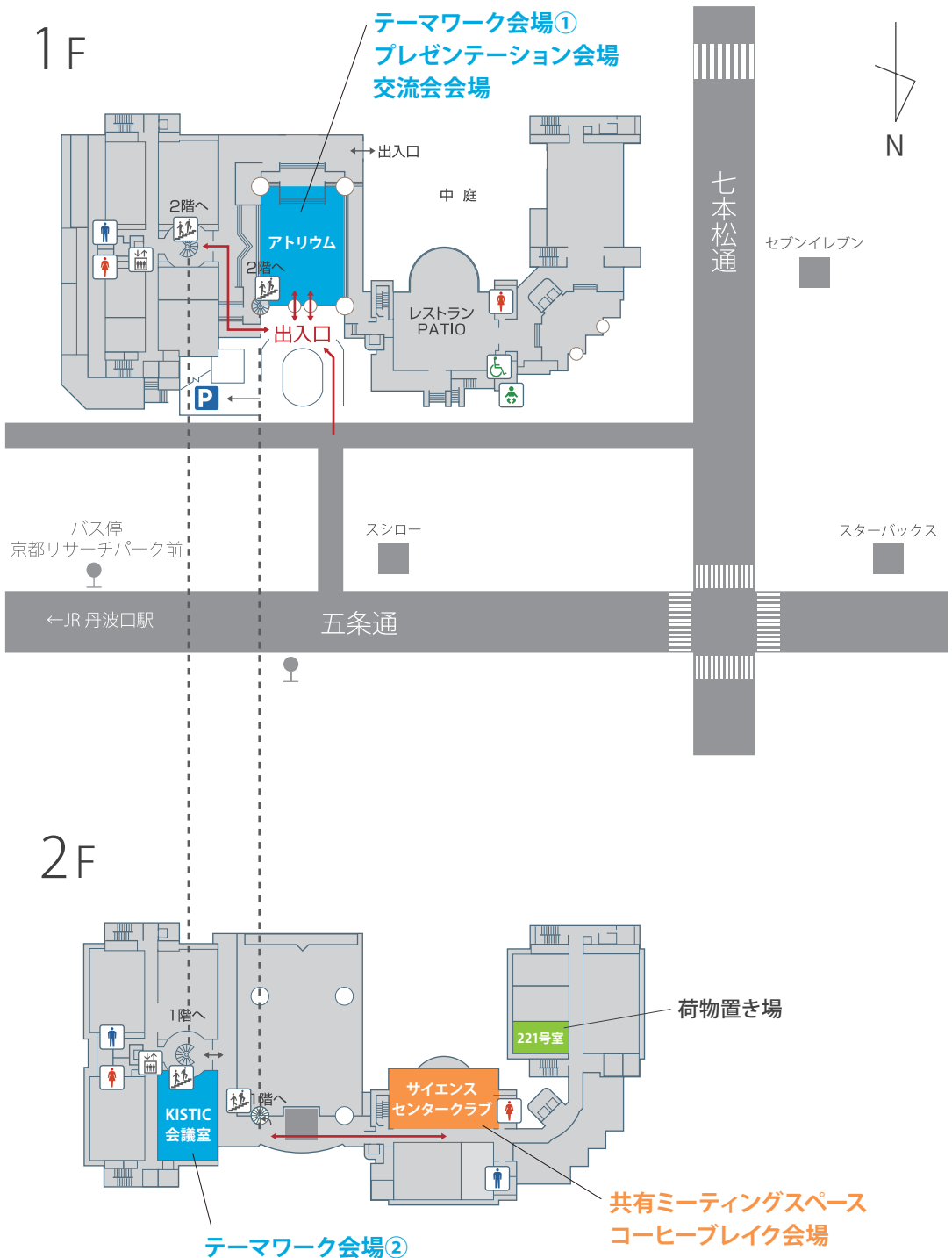
9.13 (水)

9.14 (木)

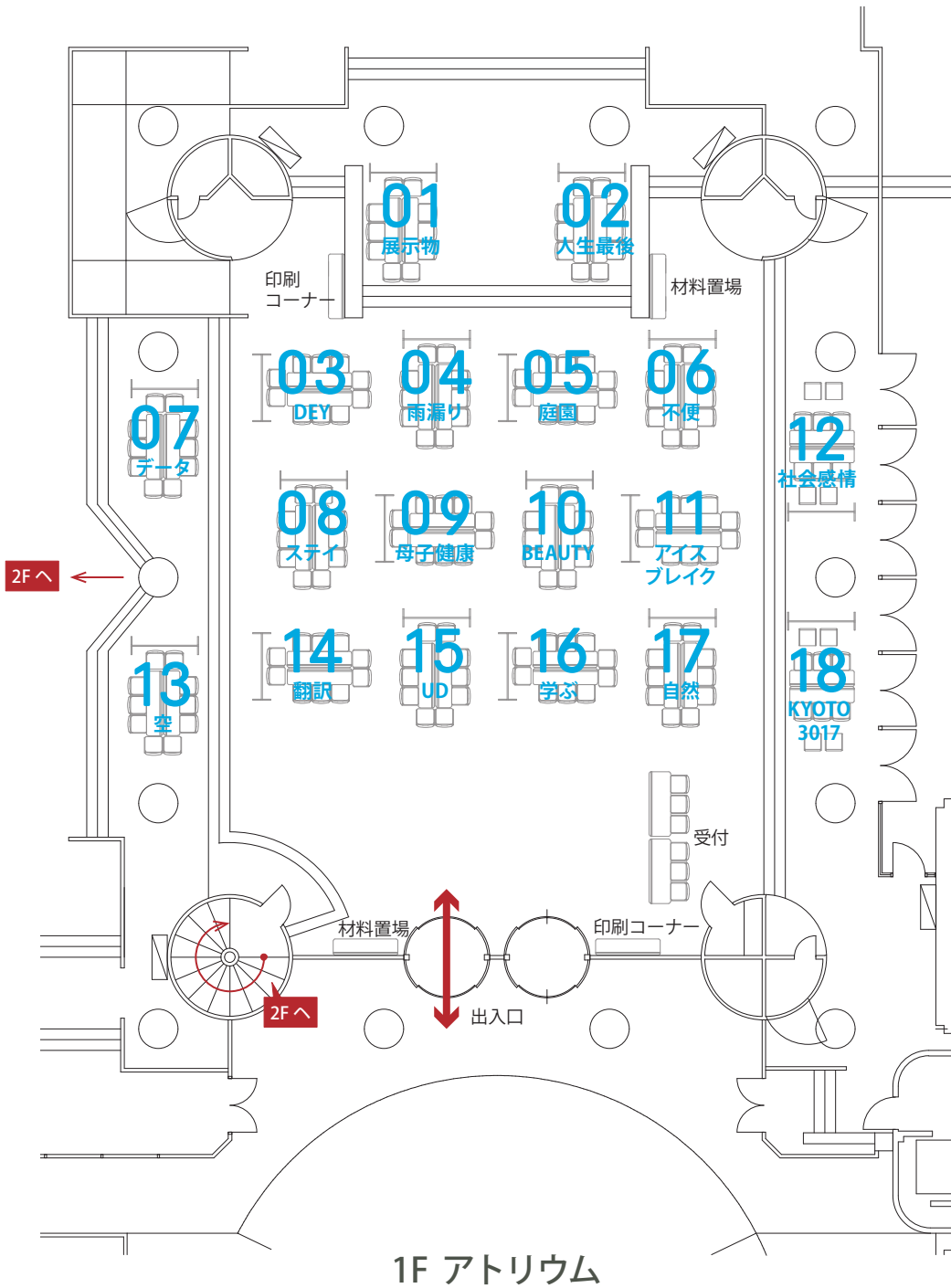
9.15 (金)

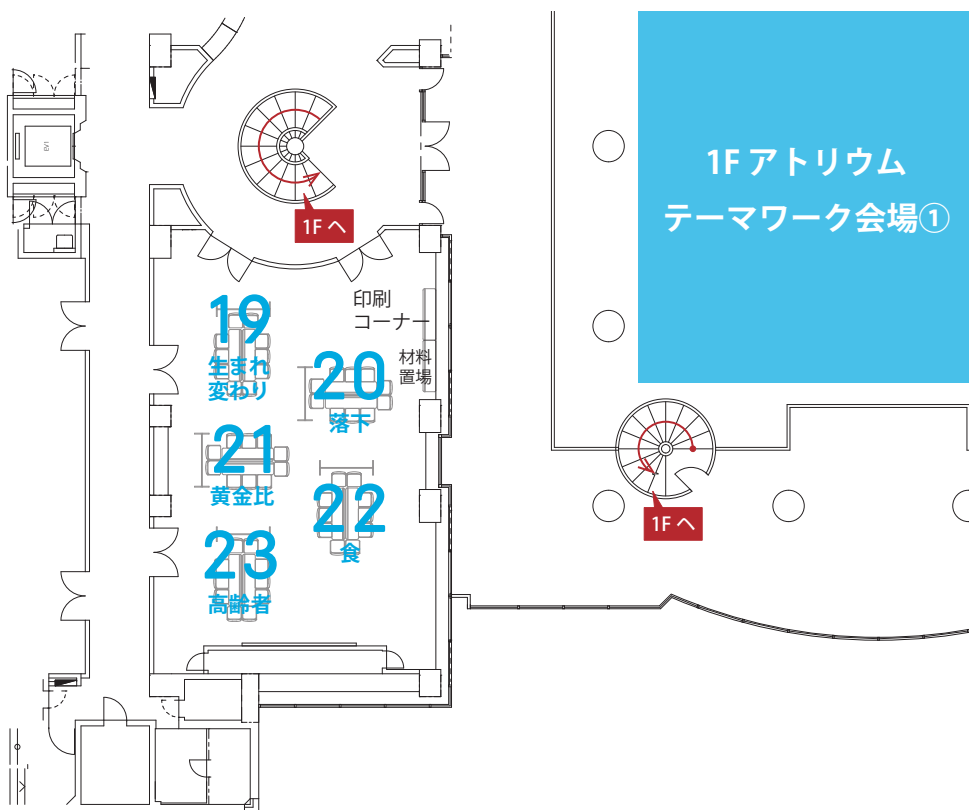
9:00	9:00 開場	9:00 開場	9:00 開場
	受付		全体説明
10:00	オープニング (9:45-10:15)	テーマワーク	プレゼン準備
11:00	テーマワーク		
12:00			
	昼食	昼食	会場配置移動 ・ポスター掲示
13:00			昼食
14:00	テーマワーク	テーマワーク	口頭プレゼン
15:00			ポスタープレゼン
	コーヒーブレイク	コーヒーブレイク	
16:00			
17:00	テーマワーク	テーマワーク	リフレクション
			クロージング
18:00	作業終了(17:45)	作業終了(17:45)	会場配置移動
	18:00 閉場	18:00 閉場	交流会
			19:15 終了

# フロアマップ (KRP1号館~KISTIC)



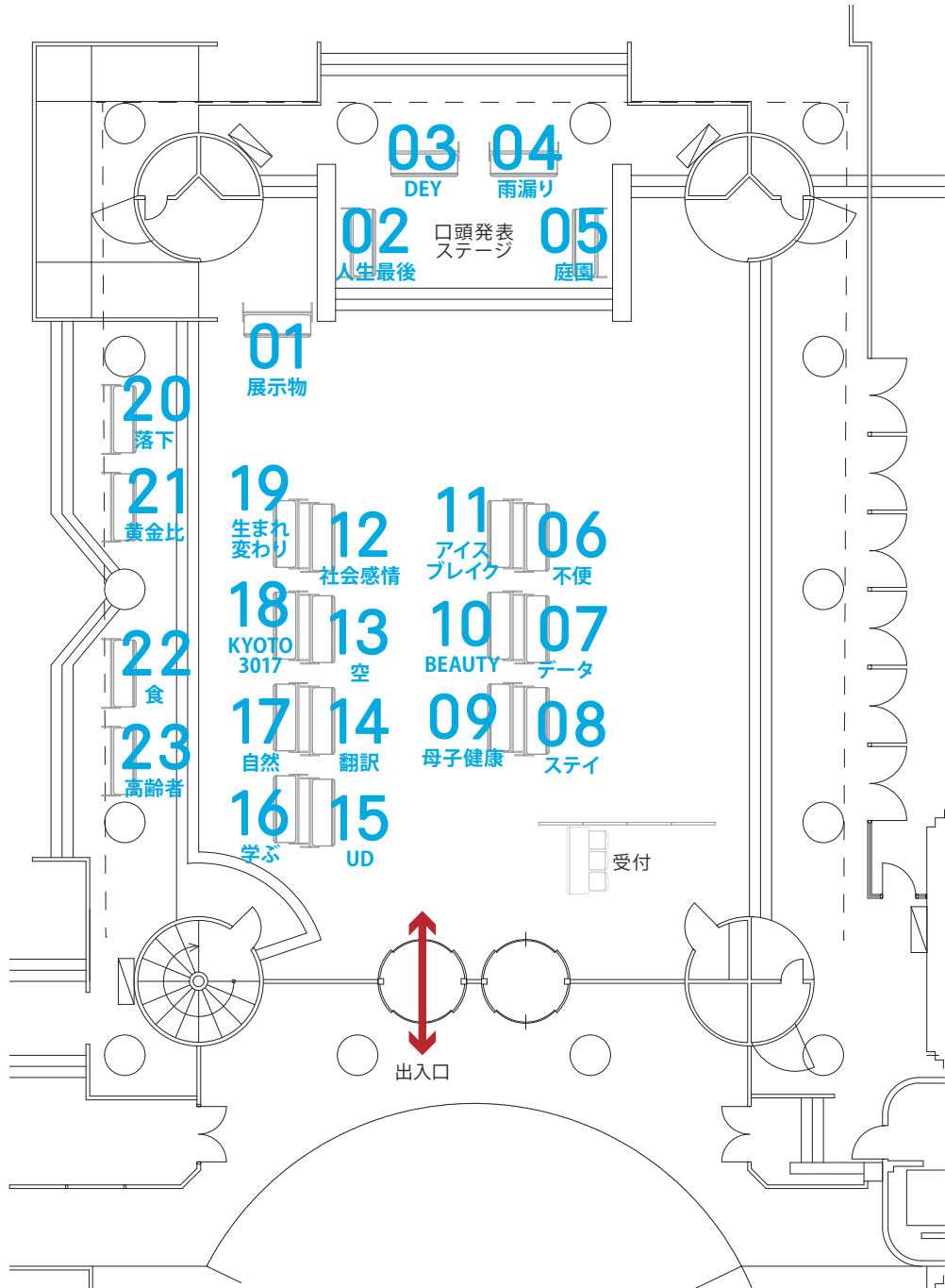
# 会場配置：テーマワーク





## 2F KISTIC 会議室

# 会場配置：プレゼンテーション





# プレゼンテーションについて

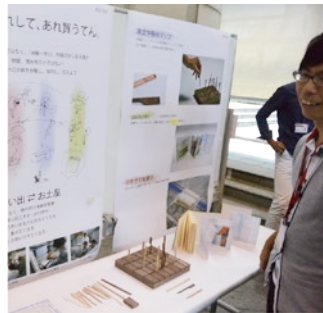
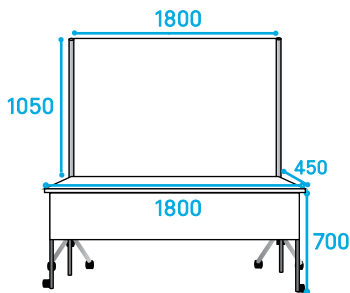
プレゼンテーションは主にポスターによって行ないます。

## 口頭プレゼン

- ・ テーマ参加者のうち1名が、30秒で、簡単にアイデアの概要を紹介してください。
- ・ スライドなどを作成する必要はありません。

## ポスタープレゼン

- ・ ボードいっぱいに、アイデアを表現してください。
- ・ プレゼンテーションには、ワークのプロセス(1日目、2日目に何をやって、アイデアがどう展開したか)も必ず含めてください。
- ・ 試作品を展示することもできます。
- ・ ポスターや試作品の掲示は規定の範囲内(横 180× 縦 180× 奥行 45 cm)に収めてください。

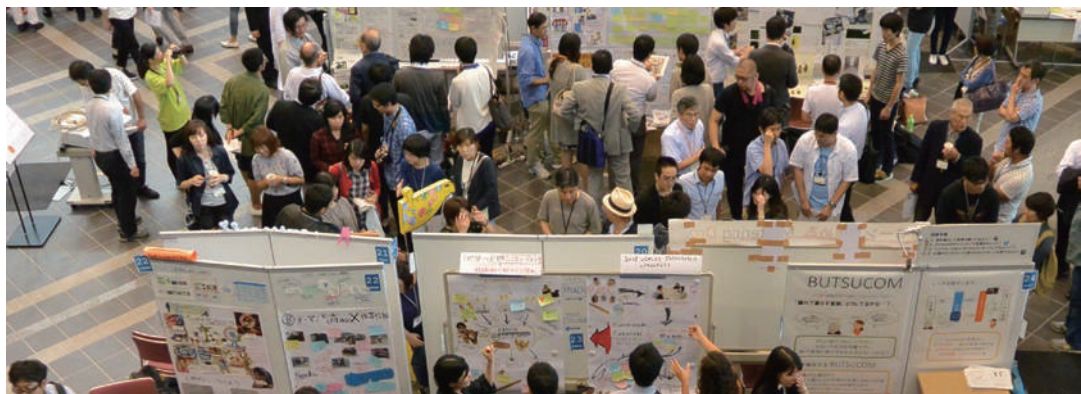


## 賞

- ・ 参加者・実施者・見学者・実行委員会の投票により、賞が選ばれます。

## 【お願い!】ポスタープレゼンへの移動について

- ・ 3日目 12時から、グループワークの配置からポスタープレゼンの配置へと移動します。  
12時には必ず作業の手を止めてください。
- ・ 配布した文具・機器類とゴミはスタッフが回収しますので、まとめておいてください。
- ・ 2階でテーマワークをしていたグループは、ホワイトボードを折りたたんでエレベータで1階に運びます。



# テーマ一覧

- 01 展示物のないミュージアムのデザイン  
ーノーベル賞級の難解な基礎理論を展示する手法のメタデザインー
- 02 未来の人生最後の1年をデザインする
- 03 D.E.Y. : エレクトロニクス製品を個人がつくる未来のサービス
- 04 『駅の雨漏り』対策のイノベーション
- 05 Rendezvous gardens ～見る庭園から遊ぶ庭園へ～
- 06 不便の効用を活用させる無人島
- 07 データによる京都発見! ?  
～地域課題の解決と新たなサービス・ビジネス創出を目指して～
- 08 未来の京都ステイ
- 09 センシング技術による母子健康の未来  
Future of maternal and child health through sensing technology
- 10 DESIGN AND BEAUTY
- 11 アイスブレイク技法としての自己開示のデザイン
- 12 「社会感情的能力」を高めて「実践に生かす」仕掛け作り
- 13 「見上げたくなる空」をデザインする
- 14 Communicate Your Culture beyond Untranslatable Words
- 15 京都でのユニバーサルデザインを考える
- 16 「学ぶ」と「働く」をつなぐ場のデザイン
- 17 “自然に学ぶものづくり” から、「暮らしの快適」をデザインする
- 18 「KYOTO 3017」～これから1000年残したい京都の姿～
- 19 “生まれ変わり” で街を改革する
- 20 落下するモノをデザインする
- 21 法則を学ぶ：黄金比は優れたおもちゃのデザインを与えるか？
- 22 京都の2050年 食のライフスタイルを考える
- 23 未来の高齢者の「楽しい!」をデザインする



各テーマの詳細はwebページへ!

<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/sds2017/theme.html>

## 01 展示物のないミュージアムのデザイン ーノーベル賞級の難解な基礎理論を展示する手法のメタデザインー

### ノーベル化学賞の難解な基礎理論を いかに博物館で展示するかを考えます

数式アレルギー、化学反応式に拒絶反応を起こすほどの文系人間を歓迎します。

三度の飯より数式と化学反応式が好きという理系オタクを歓迎します。

難しい理論や理屈は大嫌いというデザイナー志願者を歓迎します。

フロンティア軌道理論・量子化学・理論化学と聞いてたじろく人を歓迎します。

●実施者

塩瀬 隆之 京都大学総合博物館

堂野 能伸 特定非営利活動法人 Board Game Japan

本田 隆行 科学コミュニケーター

戸田 健太郎 京都大学総合博物館

遠山 真理 総合地球環境学研究所 広報室

## 02 未来の人生最後の1年をデザインする



現代は、社会構造が大きく変化しており、希望とともに不確実な状況に対する不安を感じながら生きる時代となっています。

そんな中で、あなたは

### 未来にどんな 「人生最後の1年」を 過ごしたいですか？

介護、医療、健康予防だけでなく、教育、働き方にいたるまで、たくさんの要素が絡み合っています。

わくわくできる毎日をめざす

地域看護の専門家

コミュニティー※と対話しながら  
「人生最後」を見つめてみることで  
それらをどうデザインすれば良いか  
一緒に考えてみませんか？

※<http://community-nurse.com/645>

●実施者

木村 篤信 NTTサービスエボリューション研究所

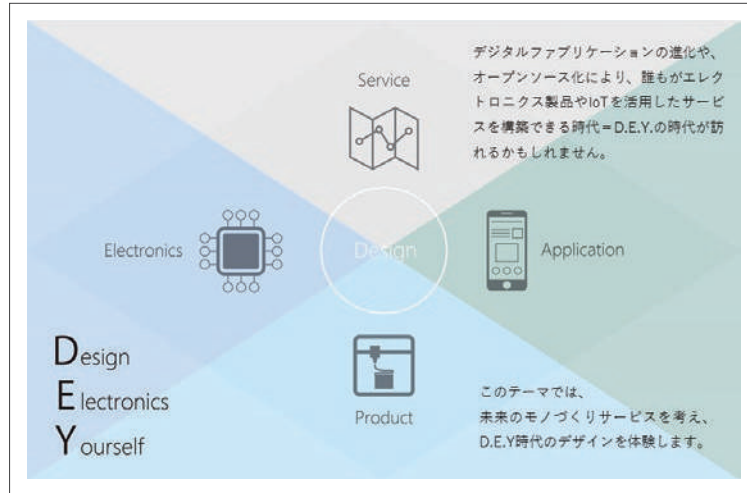
赤堀 渉 NTTサービスエボリューション研究所

赤坂 文弥 NTTサービスエボリューション研究所

野川 真司 NTT西日本 技術革新部 技術部門

石川 知夏 NTTサービスエボリューション研究所

## 03 D.E.Y.: エレクトロニクス製品を個人がつくる未来のサービス



●実施者

古畑 直紀 三菱電機株式会社 デザイン研究所  
中島 康祐 三菱電機株式会社 デザイン研究所

濱田 章公子 三菱電機株式会社 先端総合研究所  
瀬尾 和男 三菱電機株式会社 人事部人材開発センタ

## 04 『駅の雨漏り』対策のイノベーション

+ 雨が降ると、日本中の駅でなされている**雨漏り対策**。美観を損ねているが、駅の構造上、**抜本対策ができない**ケースがほとんど。

+ この問題を解決するアイデアを、日本を代表するデザインファームziba tokyoが既に**実用新案登録済**。このアイデアを**社会実装**につなげるために、皆さんの力をお借りしたいのです。

**駅における雨漏り対策の実感**

**プロフェッショナルデザイナー**

株式会社ziba tokyo  
代表取締役 平田智彦




出所) <http://ekimore.tumblr.com/>

●実施者

寺田 知太 株式会社野村総合研究所 ビジネスIT推進部  
平田 智彦 株式会社ziba tokyo  
米澤 俵介 株式会社堀場製作所 コーポレートコミュニケーション室



## 05 Rendezvous gardens ~見る庭園から遊ぶ庭園へ~

「見る庭園」から「遊ぶ庭園」へ

庭園鑑賞は見るだけで退屈、と思いませんか？そんなつまらないなら、京都中に庭が作られた筈はありません。庭は本来多目的な遊興の場。「庭に遊ぶ」という視点で見直したとき、庭園の新しい姿があなたの前に現れてきます。

(本テーマでは)

- 観光における利用に焦点を当て、「見る庭園から遊ぶ庭園」という視点を軸に、日本庭園をもっと観光に活用する手法をデザインします。
- 所有者、観光事業者、観光客といった関係者の視点に立ってデザインします。
- 必須とはしませんが、情報技術の活用を織り込むことは歓迎します。
- 実際に日本庭園に赴き、専門家からのレクチャーを受けます。

●実施者




笠原 秀一	京都大学 学術情報メディアセンター	山田 耕三	花豊造園株式会社
狩野 芳子	声楽家・ライター	町田 香	京都造形大学
齋藤 小百合	庭文化研究所		

## 06 不便の効用を活用させる無人島

- + アクセス是那覇空港から3時間以上
- + 広さは東京ディズニーランドぐらい
- + 水道などのインフラ使えず
- + 隣に船で10分の有人島あり

**不便の効用(不便益)が活用できる生活体験(ツアー)のデザイン**

- + 不便益を得やすい環境として無人島
- + 「昔の生活に戻れ」ではなく、現代だからこそその新しいデザイン

不便 ← 便利

●実施者

川上 浩司	京都大学 デザイン学ユニット
森 孝徳	ヤンバルコビト

# 07

## データによる京都発見!?

～地域課題の解決と新たなサービス・ビジネス創出を目指して～



●実施者

井上 卓也 京都市 総合企画局 情報化推進室

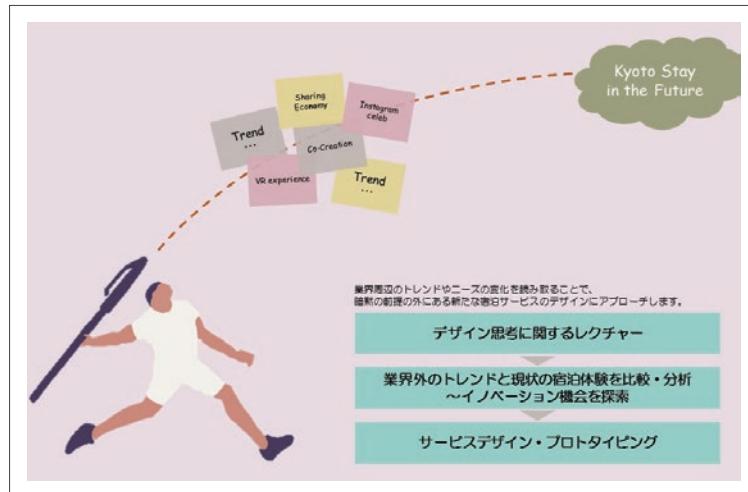
佐藤 彰洋 京都大学大学院 情報学研究科 数理工学専攻

井上 景介 京都市 総合企画局 情報化推進室

西村 正貴 独立行政法人統計センター

# 08

## 未来の京都ステイ



●実施者

白根 英昭 (株)mct

グイェム コー ホアイ ミン (株)mct

石原 志保 (株)mct

川合 啓介 (株)mct

松木 陽一 (株)mct

## 09 センシング技術による母子健康の未来 Future of maternal and child health through sensing technology



### 少子化社会における子育てをセンシング技術で支援する

- + ICTの発達により、呼吸数、心拍数、血圧などのバイタル情報を手軽に計測できるようになり、これらを日常的な健康管理に用いることが可能となっています。
- + しかし企業や研究機関における機器開発の現場は、ともしれば技術が先行し、利用法や社会的影響の評価は後回しになりがちです。
- + この課題では、少子化の進む社会での子育てのあるべき姿を多面的に議論し、センサー技術を用いた新しいサービスの提案を目指します。
- + 京都は多国籍の留学生や在日外国人が多く暮らす国際化社会でもあります。これらの方々に積極的に参加して頂き、世界的視野でこの問題を議論します。

●実施者

佐藤 亨 京都大学大学院 情報学研究科  
 明和 政子 京都大学大学院 教育学研究科  
 David Butler 京都大学大学院 教育学研究科

## 10 DESIGN AND BEAUTY



●実施者

Alessandro Biamonti Politecnico di Milano

# 11

## アイスブレイク技法としての自己開示のデザイン

一般的には、アイスブレイクは・・・

「緊張を解いてリラックスした雰囲気をつくること」  
「メンバーの関係性をつくって仲良くなること」

と言われているが、本当にそうだろうか？

初対面であ会う → 仲良くなる？

世の中には、少なくとも100以上の「アイスブレイク技法」が提案されているが、これらをいったん捨てる！  
日常生活での「偶然の出会い」や「見知らぬ人と盛り上がった場面」から、  
新しい「自己開示の仕掛け」をデザインしてみよう！

（参考）アイスブレイク技法が活用される場面  
ワークショップ、プロジェクト、会議、ビジネスシーン、研修、教育現場、まちづくり、合コン、など

●実施者

北野 清晃 京都大学大学院 情報学研究所 社会情報学専攻 博士後期課程/ワークショップデザイン研究所

# 12

## 「社会感情的能力」を高めて「実践に生かす」仕掛け作り

**社会感情的能力**  
共感性・自己制御力・働きかけ力・ストレス対処力  
など、他者と関わり合いながら社会で活躍する上で  
重要な能力の総称。感情知性 (EI) とも呼ばれる。

社会感情的能力を高めるセミナーが、教育現場  
や企業で行われている。しかし、セミナーで学ん  
だことを、すぐに実践に生かすのは難しい。

なんで怒られて どうすれば上手  
いるんだろう?? に叱れるんだ??

上記の問題解決のため、本ワークショップでは...

1. 実際に用いられているセミナーを体験することで、議論の前提となる、「社会感情的能力」を高める方法を理解する。
2. セミナーで身につけた「社会感情的能力」を一過性のもので終わらせないために必要な仕掛けを、その効果の評価方法とあわせて考案する。

●実施者

野崎 優樹 京都大学大学院 教育学研究科  
楠見 孝 京都大学大学院 教育学研究科



## 13 「見上げたくなる空」をデザインする

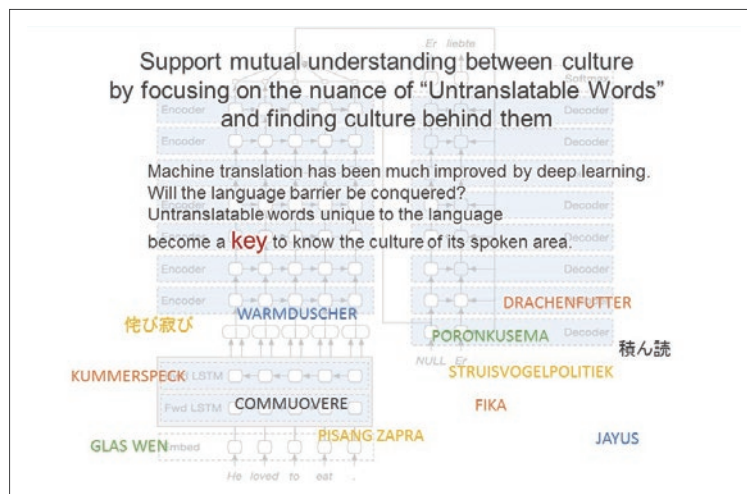


### ●実施者

橋本 明意 (株)博報堂 第2プランニング局  
井上 雄二 (株)博報堂 第2プランニング局

露木 卓也 (株)博報堂 第1プランニング局  
利根川 公司 (株)博報堂 第3プランニング局

## 14 Communicate Your Culture beyond Untranslatable Words



### ●実施者

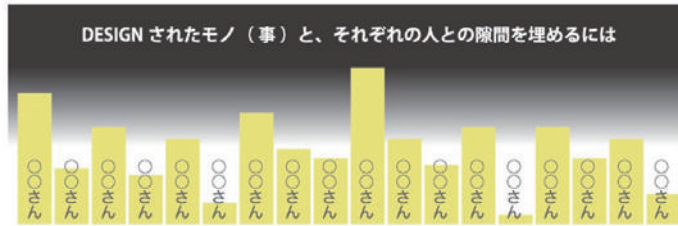
Yohei Murakami Unit of Design, Kyoto University  
Toru Ishida Dept of Social Informatics, Kyoto University  
Donghui Lin Dept of Social Informatics, Kyoto University

Arbi Haza Nasution Dept of Social Informatics, Kyoto University  
Takao Nakaguchi The Kyoto College of Graduate Studies for Informatics

## 15 京都でのユニバーサルデザインを考える

ユニバーサルデザインは海外からもたらされた概念であり、日本の文化とは異なると思われるが、日本には古くから“おもてなし”、“気配り”、“他人への配慮”といった概念が生活に深く根付いていて、それらはユニバーサルデザインとして位置付けられる大切な要素であると気付かされる。

本ワークショップは京都文化を掘り下げ、それらの中から京都に相応しいユニバーサルデザインの創出を試みるものである。



### ●実施者

塚田 章 京都市立芸術大学 美術研究科 プロダクトデザイン/産業工芸意匠領域

石田 亨 京都大学 情報学研究科 社会情報学専攻

坂田 岳彦 嵯峨美術短期大学 美術学科 デザイン分野 グラフィック・広告デザイン領域

村井 陽平 京都市立芸術大学 美術学部 プロダクトデザイン専攻

村井菜月 金沢美術工芸大学大学院

## 16 「学ぶ」と「働く」をつなぐ場のデザイン

**今、「学ぶ」と「働く」の間には  
大きな溝がないだろうか**

本テーマでは  
・形式的な自己紹介はしません  
・ホストイットは使用しません  
3日間進み続けるダイナミズムを体感しませんか

どんな空間、仕掛け、仕組みが必要なのか  
人生100年時代といわれるこれからを生きる子供たちのための  
「学ぶ」と「働く」をつなぐ場 をデザインします。

### ●実施者

観音 千尋 パワープレイス株式会社 教育公共デザイン室

諏訪 敏之 パワープレイス株式会社 第一デザイン室

五十嵐 浩司 パワープレイス株式会社 第一デザイン室

飯倉 健自 パワープレイス株式会社 教育公共デザイン室

中森 康裕 パワープレイス株式会社 教育公共デザイン室

# 17 “自然に学ぶものづくり”から、「暮らしの快適」をデザインする

太古から進化しつづけてきた生物は優れた構造や機能をもっている

自然の力 → バイオミメティック → デザイン学 ?

● 実施者 飛鳥 政宏 株式会社積水インテグレートドリサーチ  
 十河 卓司 京都大学 デザイン学ユニット 特定准教授

●実施者  
 飛鳥 政宏 (株)積水インテグレートドリサーチ  
 十河 卓司 京都大学 デザイン学ユニット

# 18 「KYOTO 3017」～これから1000年残したい京都の姿～

千年の都といわれる京都、  
 「1000年前の京都」は、遺構使が廃止され、  
 日本人の生活や考え方に根拠した  
 華やかな国風文化が生み出されました。

では1000年後の京都はどのようなのでしょうか。  
 建物？交通？服装？食べ物？  
 暮らし？家族？働き方は？

未来に思いを馳せ1000年後まで残したい文化は何か。  
 私たちが今やるべきことは何かを考察します。

■デザイン的なアプローチ  
 『千年後の京都』という正解はない、あらゆる可能性が考えられる問いかけに  
 どのように思考をスタートして探っていくか、その手道として、  
 イデオロジャージュを模索します。これは今はまだ世の中に存在しないアイデアや  
 考え方を素直に人に理解してもらう方法。  
 議論や意見で説明するよりも、イメージが伝わるように、視覚的に話しワークです。

千年後の京都を夢想してみる。

■ワークショップを通じて  
 ・京都の伝統文化を題材とする。社会問題や生活者ニーズを題材とする  
 ・イデオロジャージュに関する情報も提供する。グループワークによる、シナジー効果も期待する

●実施者  
 中村 征士 (株)電通 マーケティング・クリエイティブセンター  
 村川 慧 (株)電通 マーケティング・クリエイティブセンター  
 勝村 秀樹 (株)電通 関西プロモーション・デザイン局  
 升田 陽子 (株)電通 マーケティング・クリエイティブセンター

## 19 “生まれ変わり”で街を改革する

「イノベーション」と聞いて、どんなものを思い浮かべますか？  
IoTやAIなどの先端技術を思い浮かべる方も多いかもしれません。

でも、イノベーションってテクノロジーや専門知識が無いとできないことなのでしょうか？  
実はもっと身近で、誰にだってできることなのかもしれません。


本テーマでは、テクノロジーや専門知識に頼らず、  
「モノの意味や価値を捉えなおす」という発想法を武器にイノベーションを起こす体験を  
してみましょう。

使うモノはかつて日本で人気を博した「アナログな過去の産物」。  
現代に生きるみなさんが新しい価値を見出して「生まれ変わり」を成功させてください。  
生まれ変わったグッズによって、京都の街を改革することを目指します。

技術に頼らずとも、身近なものでも街の課題解決は可能である  
ということを体験していただきたいと思います。

大切なのは思考法。  
だから、理系も文系も関係ありません。

あなたの発明が、街の未来を変える。  
そんな体験してみませんか？



### ●実施者

柏木 大亮 (株)博報堂 第3プランニングチーム  
奥野 夏帆 (株)博報堂 第3プランニングチーム  
利根川 公司 (株)博報堂 第3プランニングチーム

## 20 落下するモノをデザインする

あるモノが落下するという時間の中に、美しいとか、おもしろいとか、すごいとか感じる何か  
を見つけよう。

見つけた何かをデザインしてみる。デザインを科学的手法・統計的手法を用いて揺さぶっ  
てみよう。

ワークショップの流れ

落下するモノを観察  
↓  
価値を見つける  
↓  
構造をみつける  
↓  
構造を分析して  
価値を増やす、または、  
新しい価値をつくる。



### ●実施者

松原 厚 京都大学大学院 工学研究科  
富田 直秀 京都大学大学院 工学研究科  
辰巳 明久 京都市立芸術大学 美術学部 / 大学院 美術研究科

楠 麻耶 京都市立芸術大学 美術学部  
桑田 知明 京都市立芸術大学 美術学部

## 21 法則を学ぶ：黄金比は優れたおもちゃのデザインを与えるか？

- 実施者
  - 寺川 達郎 京都大学大学院 工学研究科 機械理工学専攻（デザイン学本科生）
  - 小森 雅晴 京都大学大学院 工学研究科 機械理工学専攻

## 22 京都の2050年 食のライフスタイルを考える

- 実施者
  - 市岡 敦子 株式会社日本総合研究所
  - 鈴木 麻美子 株式会社日本総合研究所
  - 宇田川 彩 京都大学 人文科学研究所



## 23 未来の高齢者の「楽しい!」をデザインする



### ●実施者

清水 朋香 三菱電機株式会社 情報技術総合研究所

木津 久貴 三菱電機株式会社 デザイン研究所

須田 聡 三菱電機株式会社 先端技術総合研究所

登坂 万結 三菱電機株式会社 情報技術総合研究所



# 京都大学デザインスクール について

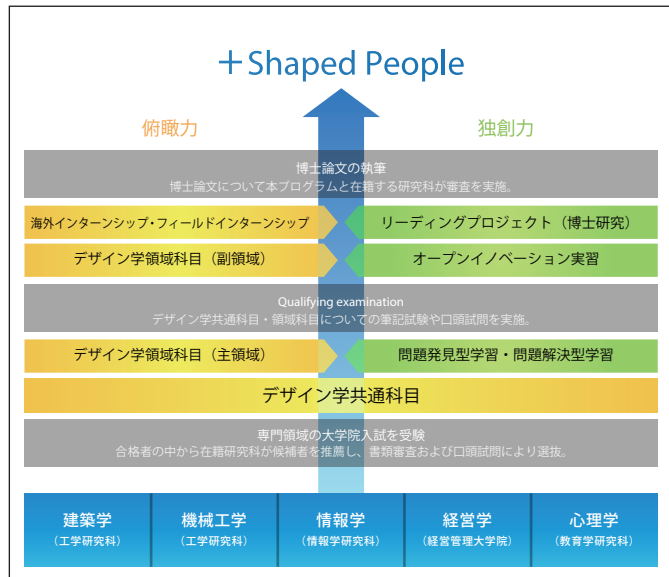


現代社会では諸問題が互いに影響を与え合い、単一の専門領域の力だけでは解決できなくなっています。この複雑化した状況において「デザイン学」は、京都大学が長年にわたって培ってきた諸学を融合しつつ、産学・国際・大学間の連携を図りながら、社会の諸問題に対して全体最適の視点から解決策を追求し社会のシステムを「デザイン」する新たな学問領域です。

「京都大学デザイン学大学院連携プログラム」は、5年一貫で「デザイン学」を学ぶのが国初の博士教育プログラム。自らの専門領域を超えて協働できる突出した専門家「十字型人材 (plus shaped people)」を育成します。「京都大学デザインスクール」は、同プログラムと社会が連携した、活動の総称。サマーデザインスクールはその活動の中でも最大のお祭りです。

情報学、機械工学、建築学、経営学、心理学のいずれかの修士課程に入学後に、プログラムに出願することで、履修することができます。5年間、自らの専門分野で研究を進めながらデザイン学の講義や実習を履修する、「2階建て」のプログラムです。

学部生の皆さん、現在社会人で博士取得を検討している皆さん、是非デザインスクールと一緒に学び、十字型人材を目指しませんか？



<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/>



# デザインイノベーション コンソーシアムについて



## Design Innovation Consortium

デザインイノベーションコンソーシアムは、京都大学デザインスクールと産業界・行政の連携により、領域横断的な問題発見・解決を行うために設立されました。グローバル社会の複合的な問題を解決できる人材の育成を推進し、産官と学の双方に接する中間組織体となることを目指しています。

デザインイノベーションコンソーシアムは、産（企業・NPO）官（行政機関）が抱える実問題を、大学が持つデザイン理論や手法を用いて解決していきます。大学が保有する知のネットワークと産官が持つ実践力が交わる相互学習の場を形成します。

そうした活動を通じて、自ら創造的なプロセスに寄与できるスキルと専門性を備え、異領域間のコラボレーションが行える活力ある人材を育てます。

2017年6月現在、69組織の企業・公的機関等が参画しています。



<http://designinnovation.jp/>

# 運営情報

## 実行委員会

平岡 敏洋（実行委員長）	京都大学 情報学研究科 システム科学専攻 助教
中澤 篤志（副実行委員長）	京都大学 情報学研究科 知能情報専攻 准教授
十河 卓司（副実行委員長）	京都大学 学際融合教育研究推進センター デザイン学ユニット 特定准教授
村上 陽平（前実行委員長）	京都大学 学際融合教育研究推進センター デザイン学ユニット 特定准教授
堀口 由貴男	京都大学 工学研究科 機械理工学専攻 助教
松原 厚	京都大学 工学研究科 マイクロエンジニアリング専攻 教授
藤本 健治	京都大学 工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授
三浦 研	京都大学 工学研究科 建築学専攻 教授
野崎 優樹	京都大学 教育学研究科 特任講師
山内 裕	京都大学 経営管理大学院 准教授
佐藤 彰洋	京都大学 情報学研究科 数理工学専攻 助教
西尾 理志	京都大学 情報学研究科 通信情報システム専攻 助教
清水 敏之	京都大学 情報学研究科 社会情報学専攻 助教
炭谷 翔悟（学生委員）	京都大学 情報学研究科 システム科学専攻／デザイン学大学院連携プログラム L2

## 運営委員会

楠見 孝	京都大学 教育学研究科 教授
石田 亨	京都大学 情報学研究科 教授
榎木 哲夫	京都大学 工学研究科 教授
佐藤 高史	京都大学 情報学研究科 教授
松井 啓之	京都大学 経営管理大学院 教授
中村 裕一	京都大学 学術情報メディアセンター 教授
塚田 章	京都市芸術大学 美術研究科 教授
政宗 貞男	京都工芸繊維大学 工芸科学研究科 教授
十河 卓司	京都大学 学際融合教育研究推進センター デザイン学ユニット 特定准教授
平岡 敏洋	京都大学 情報学研究科 助教
村上 陽平	京都大学 学際融合教育研究推進センター デザイン学ユニット 特定准教授
中澤 篤志	京都大学 情報学研究科 准教授

## 運営事務局

角川 栄里	京都大学 学際融合教育研究推進センター デザイン学ユニット
久保田 庸子	京都大学 学際融合教育研究推進センター デザイン学ユニット
谷口 文佳	京都大学 学際融合教育研究推進センター デザイン学ユニット
丸山 純子	京都大学 学際融合教育研究推進センター デザイン学ユニット

..... 京都大学サマーデザインスクール2017 公式パンフレット

..... 2017年9月13日発行

..... 発行元：京都大学デザイン学大学院連携プログラム

..... 編集：京都大学サマーデザインスクール2017 実行委員会



京都大学デザイン学大学院連携プログラム

Email: [contact@design.kyoto-u.ac.jp](mailto:contact@design.kyoto-u.ac.jp)

<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/>